

運輸安全委員会障害者活躍推進計画に基づく取組の実施状況（令和6年度）

目標に対する達成度	
① 採用に関する目標	令和6年6月1日現在の実雇用率は、4.15%であり、法定雇用率（2.8%）を上回っている。
② 定着に関する目標	令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に採用された障害者である職員のうち、離職した職員はおらず、引き続き職場環境の整備等を図ることにより、障害者である職員の定着化を推進する。
③ 満足度に関する目標	障害者である職員の66.7%が運輸安全委員会で働いていることについて満足・やや満足と回答しており（不満・やや不満は16.7%）、83.3%が現在の仕事の内容について満足・やや満足と回答している（不満・やや不満は0%）。
④ キャリア形成に関する目標	人事面談やアンケート調査等を行い、個々人の能力や障害の態様・程度等を勘案して、人事異動や業務の見直しを実施している。
取組の実施状況	
1. 障害者である職員の活躍を推進する体制整備	<p>○実雇用率、定着率、満足度等の目標の達成状況を踏まえ、当初計画に基づいて取組を実施している。</p> <p>○各種相談員等を設置し、組織内的人的サポート体制を整備するとともに、厚生労働省障害者雇用対策課など組織外の関係機関と連携体制を構築し、役割分担及び各種相談先を整理した上、関係者間で共有している。</p> <p>○役割分担及び各種相談先については、人事異動等に変更が生じるため、定期的に更新を行っている。</p>
(1) 組織面	
(2) 人材面	○障害者である職員と関わりのある職員に対して、厚生労働省障害者雇用対策課等が開催する「障害者職業生活相談員資格認定講習」、「国の機関の職員に対する障害者の職場適応支援者養成セミナー」及び「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を積極的に受講させるよう努め、支援体制の強化を図っている。
2. 障害者である職員の活躍の基本となる職務の選定・創出	○人事面談等の情報を基に障害者である職員の能力・希望を把握するとともに、業務の適切なマッチングができているかの点検を行い、必要に応じて検討を行っている。
3. 障害者である職員の活躍を推進するための環境整備・人事管理	
(1) 職務環境	○テレワーク環境を拡充し、職員が希望すれば、在宅勤務が可能となるよう環境を整備している。
	○障害者である職員からの要望を踏まえ、就労支援機器を整備する等、必要な対策を講じている。
(2) 募集・採用	○採用選考にあたり、障害者からの要望を踏まえ、面接等において障害特性への配慮を行っている。
(3) 働き方	○テレワーク勤務やフレックスタイム制の活用を促進するとともに、時差出勤・早出遅出制度などの柔軟な時間管理制度の利用を促進している。
(4) キャリア形成	○時間単位の年次休暇や病気休暇などの各種休暇の利用を促進している。
(5) その他の人事管理	○障害者である職員に対する面談等を実施し、個々人の能力や障害の態様・程度を踏まえながら、中長期的なキャリア形成に努めている。
4. その他	○国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を推進している。
	○次期計画（令和7年4月1日～令和12年3月31日）を策定するため、令和6年6月及び11月に、幹部職員と障害者である職員、直属の上司にあたる職員との意見交換会を実施した。